

提出された意見と市の考え方

番号	該当ページ	意見	市（実施機関）の考え方	反映区分
1		<p>大綱案を読みました。美辞麗句がっつらなり、大変要点を得たものとなっていると思います。</p> <p>文教は市政の根幹であり、これをコアにして市政を組み立てるべきと考えます。</p> <p>それでは、この大綱に記載された目標に向け、どのように取組むのか？要綱、要領はどのように規定し、タイムスケジュール、工程表をどのように設定するのか？つまりは具体的にはどのように進めるのか、対応部署は、予算規模は、対応体制は？さらに工程管理、その効果の判定はどのように行うのか？を表明され、お答えいただきたい。</p> <p>取手市は大綱に記載されているとおり、東京芸術大学を有し、多くの高校・専門学校があり、教育機関が多数存在しています。市内はもちろんのこと、学生・生徒をバックアップし、学外教育・福利厚生を行うべき施設・機関が極めて貧弱と思います。</p> <p>例えば図書館ですが、市内3か所もあり老人階層を中心として利用されていますが、藤代図書館は明るく飲食施設もあり良好ですが、他の施設は暗く汚く狭く、駐車場も狭く、利便性に乏しく、蔵書に至っては貧弱です。近隣では公園に隣接した我孫子図書館や市役所隣接の守谷図書館などは、環境が良く蔵書も豊富であり、老若男女が集い、学習する姿が見られます。図書館施設の抜本的な充実を大綱の具体的な柱としていただきたい。（箱ものを作ることに反対です。）</p>	<p>教育大綱は、教育の目標や総合的な施策方針について定めるものとなり、具体的な取組については、取手市教育振興基本計画等の個々個別の計画等で別途定めるものとなります。</p> <p>また、施設の充実につきましても同様に個別計画における課題となりますが、図書館については、3月15日発行の「広報とりで」においてもお知らせしているとおりとなります。</p> <p>ご意見につきましては、今後の取組みの中で参考とさせていただきます。</p>	C

		<p>ボックスヒルの一角に学習可能なスペースが設置されていますが、旧東急ビルの空きスペースを図書館としてリニューアルして活用することを提案いたしたい。駅に隣接し、駅前総合開発?ともリンクして設置することは、利便性も高く、文教重視の取手市のイメージアップに貢献できるものと思います。</p> <p>ぜひ「那須塩原市図書館みる」を視察いただき、参考にしていただきたい。</p>		
2	1, 2	<p>第3次取手市教育大綱(案)を読ませていただき、「人権」について書かれていないことが気になりました。</p> <p>「未来を切り拓くのは「ひと」であり、その心と知性を正しく働かせることで社会は発展を続けてきました。」とありますが、すべての人が心と知性を正しく働かせるためには、人権の尊重が不可欠だと思います。</p> <p>また、「子どもたちには、一人一人が互いの個性や特性、考え方の違いを尊重し、認め合う環境を整えていくことが大切です。」2次取手市教育大綱にあったこの素晴らしい一文が無くなっているのが残念です。</p> <p>「未来を切り開く人材を育てるため」という表現にも違和感があります。「子どもまんなか」と言うならば、人材を育てるためではなく、子どもの自発的な学びを応援するような表現が良いと思います。</p> <p>生成AIやビッグデータなど目の前の課題に囚われすぎているように思えます。</p>	<p>人権について、「未来を切り拓くのは「ひと」であり、その心と知性を正しく働かせることで社会は発展を続けてきました。」との文章表現における「正しく」について、正しさについて言及するのではなく、「互いの良さや可能性を認め合いつつ」と表現しました。また、基本方針1においては「多様性を認め、他者と協働して問題を解決していく力が求められます」という表現で記載しておりましたが、「多様性を認め合い、他者と協働する力を身に付けることができる環境を整えていく」と表現しました。そのような形で、個人が持っている良さ、可能性、特徴、個性そういったものを含めて、尊重されるような表現としております。</p> <p>第2次の大綱にはあった「子どもたちには、一人一人が互いの個性や特性、考え方の違いを尊重し、認め合う環境を整えていくことが大切です。」について、上記の「多様性を認め合い～」に包摂されているものと捉えております。</p> <p>また、生成AIやビッグデータについて、上記の「多様性を認</p>	B

(書式6)

			め合い～」を含めて順序を入れ替えたことから、今後活用していくべきことの一つであることが分かるような形となりました。	
3	1	<p>目標に、子ども基本法の理念である、子どもの人権の尊重を入れて欲しい。</p> <p>P1目標の4行目</p> <p>誰もが、豊かなところと個性を育む～ ⇒誰もが、人権を尊重し、豊かなところと個性を育む～にして欲しいと思います。</p>	<p>人権については、「互いの良さや可能性を認め合いつつ」と表現し、個人が持っている良さ、可能性、特徴、個性そういったものを含めて、尊重されるような表現としております。</p>	B
4	2	<p>取手の子どもたちのために、ご尽力頂き有難うございます。</p> <p>私は、「取手市教育大綱」、第2次と第3次両方を見比べながら、読みました。ほとんど、第2次も第3次も同じですが、基本方針1が大きく違っていました。どこが大きく違うかと言えば、生成AI、ビッグデータなどを安全で効果的に活用できる力を育む必要があると最初に書かれている点です。確かに、今後の未来に必要な力であるとは思いますが、基本方針1の一番最初に書かれる内容かと思えば、疑問に思います。まず、ありのままの自分を見つめ、ありのままの自分を体現できる力を身につけ、自分の良い所を伸ばせるように。子どもが学ぶことの喜びを感じられる学校教育環境を整えていくことが一番に大切だと考えます。</p> <p>そして、第2次教育大綱に書かれていますが、残念ながら、第3次教育大綱では抜けてしまった文章ですが、学びの場において、子どもたちには、一人一人が互いの個性や特性、考え方の違いを尊重し、認め合う環境を整えていくことが大切です。という内容を第3次大綱に加えて欲しいと思います。</p> <p>その上で、第3次大綱に書かれて</p>	<p>生成AIやビッグデータについて、「多様性を認め合い～」という文章を冒頭に持ってきたことで整理が必要となったことから、今後活用していくべきことの一つであることが分かるような形となりました。</p> <p>第2次の大綱にはあった「子どもたちには、一人一人が互いの個性や特性、考え方の違いを尊重し、認め合う環境を整えていくことが大切です。」については、上記の「多様性を認め合い～」に包摂されているものと捉えております。</p>	B

		いる「生活の一部として～他者と協働して問題を解決していく力が求められます」につながると思います。		
5	2	<p>日頃取手市の子ども達の為、ご尽力下さり感謝致します。本大綱において取手市は「未来を拓く豊かなところと個性を育む」ことを教育の第一の目標として掲げ、そこに向かって最善の努力を尽くしていく事が明記されております。取手市の未来を担う子ども達の教育の礎に「豊かなところ」と「個性」が掲げられている事に大きく賛成致します。</p> <p>次に記載される3つの基本方針においては、「取手市は豊かなところや個性をどう捉え、どう育ていくべきか」という内容が続いていると考えられます。</p> <p>基本方針1に関しまして、違和感を感じました。目まぐるしい変化に富んだ現代社会においては、誰もが納得する一つの正解が存在するわけではありません。誰かの正解は他の立場の誰かにとっては不正解であり、それもまた少しのタイミングと社会の雰囲気の中で大きくひっくり返されるのも日常です。そんな濁流のような世の中を、前向きにたくましく泳いでいけるように、私たち大人が何をすべきかという内容であってほしいと希望します。それは基本方針1に早々と掲げられている「生成AIを安全で効果的に活用していくこと」なのではないでしょうか？文章を読むと生成AIの活用そのものが社会全体のウェルビーイングにつながるかのような印象を受けました。それはあくまで手段の一つであり、子ども達が主体的に時と場合に応じて使いこなせる力を育む環境づくりが重要であると考えま</p>	<p>生成AIの安全で効果的な活用はあくまでも今後活用していくべきことの一つであることを踏まえて、その環境づくりが大切であることが分かるように、文章表現及び順序を入れ替え、生成AIについては、例示としての表現といたしました。</p> <p>また、一つの正解が存在するわけではないというご意見を踏まえ、「正しさ」といった表現について、目標においては、「心と知性を正しく働かせる」という表現を修正し、「豊かなところと個性を育むこと」を冒頭の文章といたしました。</p>	A

		<p>す。最大目標の「豊かなところと個性を育む」と「生成AIの活用の重要性」とのつながりがどうしても理解しづらく言葉の不足を感じます。</p> <p>以上、私が本大綱に関しまして意見申し上げたい事です。ご一読下さりましたこと感謝致します。</p>		
6	2	<p>①基本方針1中 「子どもたちには、自身や周りの人の幸せのため、あるいは、生活や社会の問題の解決のために、」について</p> <p>接続詞が「あるいは」となっていますが、幸せと、問題の解決を選ぶようなニュアンスが出てしまうように思われます。「また」としてはいかがでしょうか。</p>	<p>いただいたご意見のとおり修正いたしました。</p>	A
7	2	<p>②基本方針1中 「自ら課題を設定し、これまでに身に付けた知識や経験、社会に溢れるビッグデータの中から、必要な知識やスキル、情報を選択し、多様性を認め、他者と協働して問題を解決していく力」について</p> <p>ここでは、「自ら課題を設定する」「これまでに身に付けた知識や経験、社会に溢れるビッグデータの中から、必要な知識やスキル、情報を選択する」「多様性を認め、他者と協働する」の3つの行動が並列で並べられ、これらを行う力という構成で文章が作られているものかと読みましたが、分かりづらく、複数の捉え方ができるため修正してはいかがでしょうかと思います。原因としては、主に2つ目に関する説明が長い事かと思います。</p> <p>一案として、「自ら課題を設定する力や、社会に溢れるビッグデータの中から必要な知識やスキル、情報を選択する力、また、多様性を認め他者と協働する力を身につけることが求められます」としてはいかがでしょうか。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、「子どもたちは、ごく身近な存在となる生成AIの安全で効果的な活用をはじめとして、社会に溢れるビッグデータから必要な知識や情報を選択し、自ら課題を設定し、時代に応じた資質・能力を身に付けていくことが必要です。」との表現に修正いたしました。</p>	A

(書式6)

8	2	<p>③同じ文で、「～力が求められます」とありますが、子どもにとって求められるのはその時点で力を持つことよりも、身につけることかと思しますので、「～力を身につけることが求められます」としてはいかがでしょうか。(②の修正文案に反映しています)</p> <p>ウェルビーイングにも言及された、非常に良い大綱だと感じています。文意が通じるよう、是非修正をご検討ください。</p>	<p>「～身に付けていくことが必要です」との表現に修正いたしました。</p>	A
---	---	--	--	---

※意見公募は政策等の賛否を問うものではありません。有用な意見を政策等に反映させるため、意見の内容に着目し、これを考慮した市（実施機関）の考え方を掲載しています。